

東大野球部

New!

メールマガジン
Vol.83



いよいよ

冷気が一段と深まり、秋気身にしてみる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

1・2年生が出場した秋季新人戦では零封負けを喫し、大変悔しい結果となってしまいました。そんな中、東大野球部では4年生が引退し、3年生を中心とする新体制となって練習を開始致しました。

今季リーグ戦の悔しさをバネに、これから1年間、勝利を目指して練習に励んで参ります。

今後とも温かいご声援をどうぞよろしくお願い致します！

今後の予定

〈秋季オープン戦〉

11月16日 11:00vs 東工大@東大球場

12:30vs 防衛大@防衛大G

11月24日 12:00vs 明治学院大@神宮球場



下級生特集!

今回は「下級生特集」と題して、11月4日に行われました秋季新人戦と、1年生選手のこれからへの意気込みを特集致しました。

◇秋季新人戦1回戦vs立大

立大 100000010012
東大 000000000000

(立) ○黒荻、八巻、小林昌一鈴木貴

(東) ●辰亥、関、出田一袖野、喜入

㊦ 佐藤拓、寺田、鈴木貴、酒井田(立)

立教大学との新人戦1回戦では、先発した辰亥が毎回のようランナーを背負うも6回1失点と粘りの投球を見せた。打線も度々好機を作ったがあと1本が出ず、零封負けを喫した。

澤田 勇太 (2年・外野手・岐阜)

春の新人戦では1勝し、優勝を目標に臨んだ秋の新人戦でしたが、勝つことができず、とても悔しい思いをしました。個人としてもチャンスで打つことができず、チームとしても幾つかミスが出てしまい、力不足を痛感しました。

この悔しさを来春のリーグ戦で晴らすべく、この冬の練習に必死に打ち込んでいきますので、応援よろしく願います。



◇飛躍を誓って

日井 貴登 (1年・内野手・県千葉)

秋の新人戦は立教大学と戦い2対0で惜しくも敗れてしまいました。自分は試合には出場できなかつたのですがベンチに入り神宮独特の緊張感を間近で感じる事ができました。また来年の新人戦で自分達の代が他大学と渡り合うにはかなりのレベルアップが必要だと痛感しました。

他大学の選手と渡り合うためにまずは体づくりが必要だと考えています。力負けしない体にするためこの冬でトレーニングをしっかり行っていきます。

下雅意 拓哉（1年・捕手・甲陽学院）

新人戦ではあと1本が出ずに負けてしまいました。僕は外から見ていたのですが、やはり内からも六大学のレベルを感じてみたいと思いました。やはり試合に出て学ぶことが最も重要で近道だと思うからです。

そして冬がもうすぐやってきます。シーズンもオフとなるので実戦練習よりも基本練習が多くなります。僕は主にウエイトとバットイングに取り組みたいと思っています。そして春にはまずはベンチ入りすることが目標です。応援よろしくお願いします。

三木 豪（1年・投手・東多摩）

リーグ戦で登板しましたが、神宮のマウンドは自分の想像以上に厳しい場所でした。他大の選手の打力は凄まじく、圧倒的な差があることを痛感しました。

しかしながらこの夢の舞台に一度でも立てたこと、そして実際に大学最高レベルの野球を、身をもって体験出来たのは、これから冬を過ごす上でプラスになると思います。

この冬は秋シーズンで感じた他大の選手との差を少しでも埋めるよう力を蓄えます。そして春には東大が勝つための戦力としてあのマウンドに戻ります！



左から、下雅意・三木・白井



編集後記

今回の特集はいかがでしたか。リーグ戦を通し、様々な経験をした1・2年生、新チームの中心となっていく3年生、それぞれが様々な決意を胸に秘め、日々を過ごしています。新体制となり、新たな一步を踏み出した今でも変わらない目標は「勝利」です。来季こそはリーグ戦での勝利をつかめるよう、気を抜くことなく精一杯努力してまいります。

今後とも東京大学野球部をよろしくお願い致します！



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-9 一誠寮

TEL & FAX 03 (3811) 5100

メールアドレス office@tokyo-dbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。